資料７

**令和３年度　万博記念公園マネジメント・パートナーズ　事業実施計画書（抜粋）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **◆今年度の取組方針**  来園者数300万人を目標としていた2020年において、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により人の移動や集客が制限され、万博記念公園の売上が大幅に減少する等多大な影響があった。2021年度以降の戦略として「大阪都市魅力創造戦略2025（以下**「戦略2025」**という）を踏まえ、再構築する。  「戦略2025」で示されている基本的な考え方を取り入れ、フェーズに応じた取り組みを以下の通り推進。  【基本的な考え方】  多様な主体が連携し、万博記念公園エリア全体を活性化  安全・安心で持続可能な  魅力ある公園の実現  大阪・関西万博のインパクトを  生かした魅力の創造・発信  【フェーズに応じた取り組み推進の考え方】  ■フェーズ１（ウィズコロナ） →**2021年度計画を想定**  　緊急対策期／反転攻勢 準備期  ・感染防止対策を最大限に講じつつ、国内の観光需要の喚起等に向けた取組みを推進  ・ウィズコロナに対応した新たな魅力の創出、反転攻勢に向けた準備、基礎固め、受入環境整備等を着実に実施  ■フェーズ２（ポストコロナ）→2022年度計画以降を想定  　反転攻勢期  ・ウィズコロナ期における取組みを土台に、地元住民に加え、国内全体の観光客、将来的なインバウンド需要も対象とした誘客を促進するなど、2025年に向け取組みを加速度的に推進し、賑わいを創出  【内外からの誘客に関する数値目標】  戦略の数値目標として、「内外からの誘客」に関し、「大阪の再生・成長に向けた新戦略（2020年12月）」と整合を図りつつ次のとおり設定する。なお、これらは感染症の状況による変動要因が大きいため、当面の間、新型コロナウイルス感染症発生前の水準（2019年実績）を上回ることを目標とする。  ※先行きが見通しづらい状況を踏まえ、社会経済情勢等の変化に応じて目標値、達成をめざす時期等について、適宜、追加・修正を行うなど必要に応じて柔軟に見直しを行っていく。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標 | 目標値（2019年度実績） | 達成を目指す時期 | | 来園者数（自然文化園） | 236.5万人 | 2022年 | | 外国人来園者数 | 1.7万人 | 入国規制解除から2年後 |   2020年度は2019年度2月頃から感染拡大した新型コロナウイルスの影響で、多くの事業が中止となり、当初計画をほとんど実行できなかった。経営状況も逼迫しており、先行きが見えない状況に陥っている。  そのような中、2021年度は、前述の【フェーズに応じた取り組み推進の考え方】フェーズ１「緊急対策期／反転攻勢 準備期」と位置付け、経営の健全化と新しい生活様式に基づく、安全で安心して利用できる公園を目指さなければならない。  経営の健全化のためには、新様式での公園利用の推進で最大限の集客を行うことと、更なる経費削減が必要である。集客においては、例えばターゲットを海外から国内重視に視点を変え、集客活動を行っていく。また、前述の【基本的な考え方】「多様な主体が連携し、万博記念公園エリア全体を活性化」を促進するため、18年度～19年度に新設した施設や民博・近隣施設などと協力し、セット券を販売するなど販路を広げていく。経費削減においては、前年度行った新型コロナウイルスへの臨時対応の継続や大阪府との業務分担の明確化により安全・安心を損なうことの無い仕様で上質なサービスを提供していく。また、前年度から引続き入園料の改定について大阪府と協議していく。これら経費縮減と入園料改定により「安全・安心で持続可能な魅力ある公園の実現」に注力したい。  最後に「大阪・関西万博のインパクトを生かした魅力の創造・発信」のため、公園のスマート化計画等、反転攻勢に向けた準備、基礎固め、受入環境整備等を着実に実施したい。  ※尚、2021年度においても、コロナウイルスの影響により投資計画・本事業計画に記載する取組事業に大きな影響を及ぼすことが予想されます。今年度実施不可能となった投資・事業においては、大阪府と協議し次年度への繰越や事業の中止等の決定を適宜行います。 |
| **◆今年度の広報戦略**  **コロナ~~禍~~における最適チャネルの選択による情報発信とプロモーションを実施する。**  **【ターゲット層の明確化】**  ・昨年度に引き続き、マイクロツーリズムを意識した近隣、関西圏を中心とした国内観光客  **・**性別、年齢、利用目的別（四季の花・自然・イベント）を明確にしたターゲットの選定    **【発信コンテンツ】**  ・四季イベント、賑わいイベント  ・太陽の塔、EXPO’70パビリオン、日本庭園などのレガシー施設情報  ・万博BEASTをはじめとした新規施設の、アウトドア、フィールドワークの大阪一のスポットとしての情報発信  ・2025万博と連携した「まなび」の場としての情報発信  ・その他　運動施設、飲食施設情報  ・他施設と連携したエリアとしての魅力情報の発信  ・前売りセットチケットの販売を利用したプロモーション  **【最適チャネルの設定】**  ・ソーシャルメディア（FB　IG　Youtubeの更なる活用）  ・えきすぽさんぽのより効率的な紙面とポスティング先の最適化  ・オンライン販売による広報と連動した商品販売の検討  **【万博記念公園独自メディアのさらなる活用】**  **・**公園ホームページ  ・スマートフォン専用パークガイド  ・Facebook　Instagram　公式アカウント  ・太陽の塔オフィシャルサイト  ・公園だより、各種パンフレット  ・ポスター、車内吊広告  ・サイネージ |
| **◆太陽の塔**  **予約セット券の販売**  　　太陽の塔オフィシャルサイトで予約のお客様は、現状太陽の塔の入館料のみ事前のクレジット決済のサービスとして提供していますが、2021年度6月から入園料とのお得なセット料金で提供します。当日券よりお得な料金で提供することで、予約客の増加を図ると共にお得な料金での提供により利用者サービスの向上を実現します。  **◆EXPO’70パビリオン**  **新常設展「ペーパークラフト1970年万博会場模型　1/300」**  　　　　長い年月をかけて製作された、ペーパークラフト1970年万博会場模型が完成したことから、2020年に展示を開始しました。利用者に何度も足を運んでもらえるような工夫を行います。  また、EXPO’70パビリオンツアー企画で70年万博会場説明の際に活用し、小型カメラ等を使用した臨場感溢れる画像を楽しめる仕組みや、ペーパークラフトのワークショップや、ぺーバークラフト製作キットの開発を検討します。  **◆日本庭園**  **日本庭園の施設魅力化**  ・中央休憩所の庭園景観を存分に感じて頂けるJapanカフェへの改装。  中央休憩所に和風カフェの機能と、心字池の景観をゆったりと満喫できる可動式スペースを設置するなど、コロナ禍での状況をみながら今年度秋の開業を目指します。**※延期**  ・日本庭園正門付近を中心としたプレイスメイキング（野点傘・和ベンチの配置）  **日本庭園の魅力を最大限引き出すコンテンツ創造**  　・桜や紅葉など、日本庭園が誇る景観を更に魅力的にするための夜間ライトアップの実施  　・あらゆる世代に見て頂ける新たな音楽・芸能コンテンツイベントの定期実施  　・茶室（汎庵・千里庵・万里庵）の呈茶サービス継続実施 及び呈茶以外の利用促進の検討  　・日本庭園散策コース（八景）を活用したガイドサービスの確立  ・自主事業による、夏のイルミネーション（**中止**）、紅葉まつりライトアップ等のイベントを検討する。  来園者により楽しんでもらう為、集客効果が上がる内容を検討。 |
| **◆イベント**  **■指定管理業務イベントについて（開催順）※コロナの状況によっては中止または延期の場合有**  **１）さくら祭り**  □ 開催期間　： ３月２０日（土）から４月１１日（日）  □ 会　　場　： 自然文化園  □ 実施内容 ： 5,500本のさくらが咲き誇り、各種イベントも同時に開催されます。  2021年度は、夜間入場は状況を鑑み実施はしません。  週末土日については18：00まで閉園時間延長を検討します。  **２）チューリップフェスタ**　  　　　□ 開催期間　：　４月3日（土）から４月２5日（日）  　　　□ 会　　場　：　自然文化園　チューリップの花園  □ 実施内容　：　赤や黄色、紫色の約10万本のチューリップが広場一面に咲き誇ります。  **３）ポピーフェア**　  　　　□ 開催期間　：　４月3日（土）から５月5日（水）  　　　□ 会　　場　：　花の丘  □ 実施内容　：　花の丘一面に約38万本のポピーが咲き誇ります。  15,000株のアネモネと7,500株のネモフィラとの共演もお楽しみいただけます。  **４）日本の春咲えびね展**　**※中止**  　 　 □ 開催期間　：　４月29日（木・祝）～5月5日（水・祝）  □ 会　　場　：　日本庭園　園芸植物展示場等  ≪特記事項≫　 希少なえびね草を展示  **５）ローズフェスタ（春期）　※中止**  　　　□ 開催期間　：　５月8日（土）から６月6日（日）  　　　□ 会　　場　：　平和のバラ園  □ 実施内容　：　1970年の大阪万博開催時、世界9ヵ国から平和を願って贈られたバラたちと、  最新のバラを取り入れた“極上の癒し空間”として生まれ変わった「平和のバラ  園」。優美なバラの姿はもちろん、豊かな香りもぜひお楽しみください。  **６）蛍の夕べ**　**※中止**  **７）あじさい祭**　**※中止**  　　　□ 開催期間　：　5月29日（土）から6月２0日（日）（予定）  　　　□ 会　　場　：　自然文化園　あじさいの森  □ 実施内容　：　梅雨の時季、万博記念公園をしっとりと彩ってくれるあじさい３０品種、  約4,000株が花を咲かせます。  **８）早朝観蓮会　※中止**  　　　□ 開催期間　：　６月２５日（金）～６月２７日（日）、７月２日（金）～4日（日）、  計６日間　（予定）  □ 開催時間　：　早朝6：00から　※入園は16：30まで　※雨天決行、荒天中止  　　　□ 会　　場　：　日本庭園　はす池  □ 実施内容　：　26品種約1,200株のハスと、７品種約1,000株のスイレンが早朝にきれい  な花を咲かせます。午後には閉じてしまう魅力的なハスが一面に咲き誇ります。  ≪特記事項≫  ◎象鼻杯は、コロナウイルス蔓延防止の観点から（人の密集を誘発する為）本年度は中止  **9）ひまわりフェスタ**　  　　　□ 開催期間　：　７月１７日（土）から８月９日（月祝）（予定）  　　　□ 会　　場　：　自然文化園　チューリップの花園  □ 実施内容　：　２２品種、約１0,000株のひまわりの花が咲き誇ります。中には、モネ、マティスなど有名な画家の名前の付いた珍しいヒマワリもお楽しみいただけます。  **１0）インターナショナルキャンプ** 　**※中止**  □ 開催期間　： ８月3日（火）～８月4日（水）（予定）  □ 会　　場　：　上の広場、中央休憩所　BBQコーナー  □ 実施内容　：　自然体験を通して、環境の大切さや自然の仕組みを学習します。 野外活動や野外炊飯を体験し自然界の科学も学習。また留学生との英語でのコミュニケーションを体験します。  **１1）Wonder Experience イルミナイト万博（夏季）　※中止**  　～太陽の塔の更なる観光資源化～  　　　照明・イルミネーション等の設置による夜間演出を実施し、来園者の満足度を高める催事を実施する。  　　　本年度は、日本庭園内の心字池・蓮池のライトアップを有料化で実施することにより、過去と比較して料金に見合ったコンテンツの充実化を図る。併催でフードイベントも実施し誘客を図り、より広く日本庭園を知っていただく機会を創出する。  　　　□ タイトル　： 「Wonder Experience フードイベントと夕涼みイルミナイト万博」（仮）  □ 開催期間　：　８月７日（土）～８月22日（日） 16日間（予定）　※雨天決行・荒天中止  　　　□ 開催時間　：　午後9時まで  □ 会　　場　：　日本庭園とその周辺エリア（予定）  **１2）コスモスフェスタ**  　　　□ 開催期間　：　10月２日（土）から1０月３１日（日）（予定）  　　　□ 会　　場　：　自然文化園　花の丘  　　　□ 実施内容　：　花の丘にコスモスが咲き誇ります。イベント開催期間中は、会場となる花の丘近くに売店がないことから、コスモスや花の苗、食物、飲料等を販売する臨時売店を設置します。  **１3）ローズフェスタ（秋期）**  　　　□ 開催期間　：　10月1６日（土）から1１月７日（日）（予定）  　　　□ 会　　場　：　平和のバラ園  □ 実施内容　：　1970年の大阪万博当時のレガシーと最新のバラの融合による、美しさと芳醇な  香りをお楽しみいただきます。  **１4）紅葉まつり**  　　　□ 開催期間　：　１１月６日（土）から１２月５日（日）（予定）  　　　□ 会　　場　：　日本庭園、自然文化園全域、紅葉渓  □ 実施内容　：　毎年開催し秋の恒例イベントとなっている「紅葉まつり」を開催。  　　　　　　　　　　　 併催の賑わいイベントも実施します。  　　　 ≪特記事項≫  　　　◎日本庭園夜間のライトアップ。  期間中の指定の金土日に日本庭園の西側エリアの夜間ライトアップを実施（予定）  　　　　　　※2020年度の実績を踏まえ、有料化による更なるライトアップのコンテンツの充実化を図  り、より広く日本庭園を知っていただく機会を創出する。  **【「紅葉まつり」併催イベント】**  ・伝統芸能イベント  　　　　「紅葉まつり」開催期にあわせて、公園の賑わいづくりを演出するイベントを開催します。  　　　　□ 開催期間　：　11月の土曜、日曜日の1日程度（予定）  　　　　□ 会　　場　：　日本庭園　中央休憩所  　　　　　≪特記事項≫  　　　　　　　◎伝統芸能の公演だけでなく、広く実施。    　　　・日本庭園茶室「汎庵・万里庵」特別公開  □ 開催期間　：　11月６日（土）から12月５日（日）（予定）  □ 会　　場　：　茶室「汎庵」にて呈茶を開催  **１5）万博公園写真コンテスト**  　　　 □ 開催期間　： ・作品応募期間　1０月１日（金）から11月３０日（火）  　　　　　　　　　　　 ・作品展示期間　12月～３月  　　　 □ 会　　場　：　日本庭園 中央休憩所 等  　　　≪コンテストの題材≫  　　　　◎万博記念公園の魅力を表現したもの。（ハス除く）  **１6）Wonder Experience イルミナイト万博（冬季）**　  　～太陽の塔の更なる観光資源化～  　　　太陽の塔を中心にイルミネーションによる音と光の演出を実施します。  □ タイトル　：　「Wonder Experience イルミナイト万博　冬季」（仮）  □ 開催期間　：　1２月３日(金)～同年12月2６日(日)のうち金・土・日・祝（予定）  　　　　　　　 ※雨天決行・荒天中止  　　　□ 開催時間　：　午後9時まで  □ 会　　場　：　太陽の塔と周辺エリア（予定）  　　　　 万博記念公園駅のスロープをはじめ、中央ゲート～太陽の広場、東大路の通り抜けのイルミネーションを過去にない規模で拡充し、体験コンテンツ等も増やし参加者の満足度を拡充する。太陽の塔周辺では音と光による新たなコンテンツを実施する。例年開催のラーメンEXPOをお祭り広場に誘致し、更なる誘客を図る。また、冬季イベントの感染症対策も徹底し予防する。   * 実施予定内容 ： 万博記念公園過去最大数のストリングライトによる演出の実施   　　　　 万博記念公園駅～中央広場スロープ中央橋のイルミネーション、太陽の広場及び通路のイルミネー  ション、東大路のイルミネーションなどの通り抜け、太陽の塔（正面）の光と音による演出の実施  等を予定  **１7）梅まつり**  　　　□ 開催期間　：　2月1２日（土）～3月1３日（日）　（予定）  　　　□ 会　　場　：　日本庭園、自然文化園　梅林    **【「梅まつり」併催イベント】**  　　　・長浜盆売店：期間中の２週間の週末（予定）  　　　　過去2年実施の、長浜の新春の風物詩「長浜盆梅展」から盆梅が万博記念公園に登場。  ・伝統芸能イベント  　　　　「梅まつり」開催期にあわせて、公園の賑わいづくりを演出する伝統芸能イベントを開催します。  　　　　□ 開催期間　：　2月1２日（土）～3月1３日（日）（予定）  　　　　　　　　　　　　 ※「梅まつり」開催期間中の土・日曜日に１回実施予定  　　　　□ 会　　場　：　日本庭園　中央休憩所  **１8）つばき祭**  　　　□ 開催期間　：　2月1２日（土）～3月1３日（日）　（予定）  　　　□ 会　　場　：　自然文化園　つばきの森  **19）大道芸・各種芸能イベント・楽器演奏会等　（ＥＸＰＯアーティスト）**  　　　□ 開催期間　：　通年　※四季に咲く花等のイベント開催期間中の日曜日及び祝日を中心に実施。  　　　□ 実施時間　：　自然文化園・日本庭園の開園時間帯  　　　□ 会　　場　：　自然文化園、日本庭園内 |
| **◆運動施設**  ※万博記念競技場は2021年10月～2022年3月31日の期間に改修工事に伴い、使用不可。  ＜WEB予約システムの導入＞  　　西地区（テニス・フットサル）同様に利用者利便性向上のため、東地区・南地区でも  予約システムの導入を実施する。  実　施：2021年6月導入で調整中。  〇スポーツ教室の企画  ・元プロサッカー選手によるJリーグを本気で目指すスクール  ・プロ野球で長年活躍した星野伸之指導による野球アカデミー  ○エンターテイメント×スポーツイベントの企画・検討  〇スクール・イベント運営  ・テニススクール、フットサルスクール |
| **◆樹木管理**  **１）樹木管理について**  各樹種の特性や植栽目的に合った剪定方法を選択し、剪定後の景観や樹形に配慮します。樹木の健全な生育の支障にならないように、適正な時期・適切な剪定作業を行います。  園内各地の高木については、各芝生の広場や西地区などエリア毎の利用目的に配慮した剪定を行います。各樹種に見合った自然樹形を目指しつつ、切り戻しや強剪定を行うことで、高さを制限する代わりに側枝の生長を促し、安全な環境の確保、景観の向上を図ります。  樹勢の衰退が著しい樹木は、樹勢回復を実施(主に冬季)し、西大路のプラタナス並木については、倒木被害軽減、新しい枝を出しより良い並木景観にするため適切な剪定を行います。  病害虫による衰弱木(腐りも含む)を優先的に強剪定、伐採を行い樹林全体の健全化を図ります。  **２）万博の森について**  大阪府が行う森の育成計画に基づき、森林内については大阪府の指示のもと対応します。大阪府が万博の森の立ち入り制限対策として園路沿いにロープ柵の設置を行っています。園路沿いの枯損木や緊急対応が必要な樹木については、来園者に危険が及ばないように巡視体制を強化し安全対策を講じたうえで剪定、伐採作業など適切に対応します。事故を未然に防ぐためにも、大阪府との協議をこまめに行いながら管理を行っていきます。  **３）樹木診断について**  ○主要な花木及び銘木  日々の巡回等で、樹勢回復等の必要がある樹木については、樹木医の診断を行い、診断結果によって、適切に対処します。   1. 外観診断：樹木の様々な凹凸や亀裂、隆起など、その状態から健全度を判定します。重大な危険がないと判定されれば調査はここで終了します。 2. 精密診断：外観診断の結果を樹木医と相談の上、必要だと判断した場合は、レジストグラフなどの器具を使って樹木内部の状況を調査します。生体に与える影響を最小限に止めるようにします。 3. 判定：外観診断結果とあわせて、その樹木の危険度を判定します。判定結果を基に大阪府と協議し、治療を計画します。   ○その他園内樹木  2020年度に発生した倒木事故を踏まえ、上記樹木以外の園内樹木における危険木早期発見に向け、日々の巡回を強化します。日々の点検(日常点検)、月に２回程度の大阪府との合同巡回(定期点検)を行い、年に１回は大阪府主動による精密点検を行います。作業に関しては、外観診断をもって剪定や伐採などの方向を決めていきます。 |
| **◆投資の履行 及び収支の状況**  〇投資額（2018年度～2023年度合計）　：500,000千円  ※2021年度も新型コロナウイルスの影響を鑑み、投資は行わない。 |